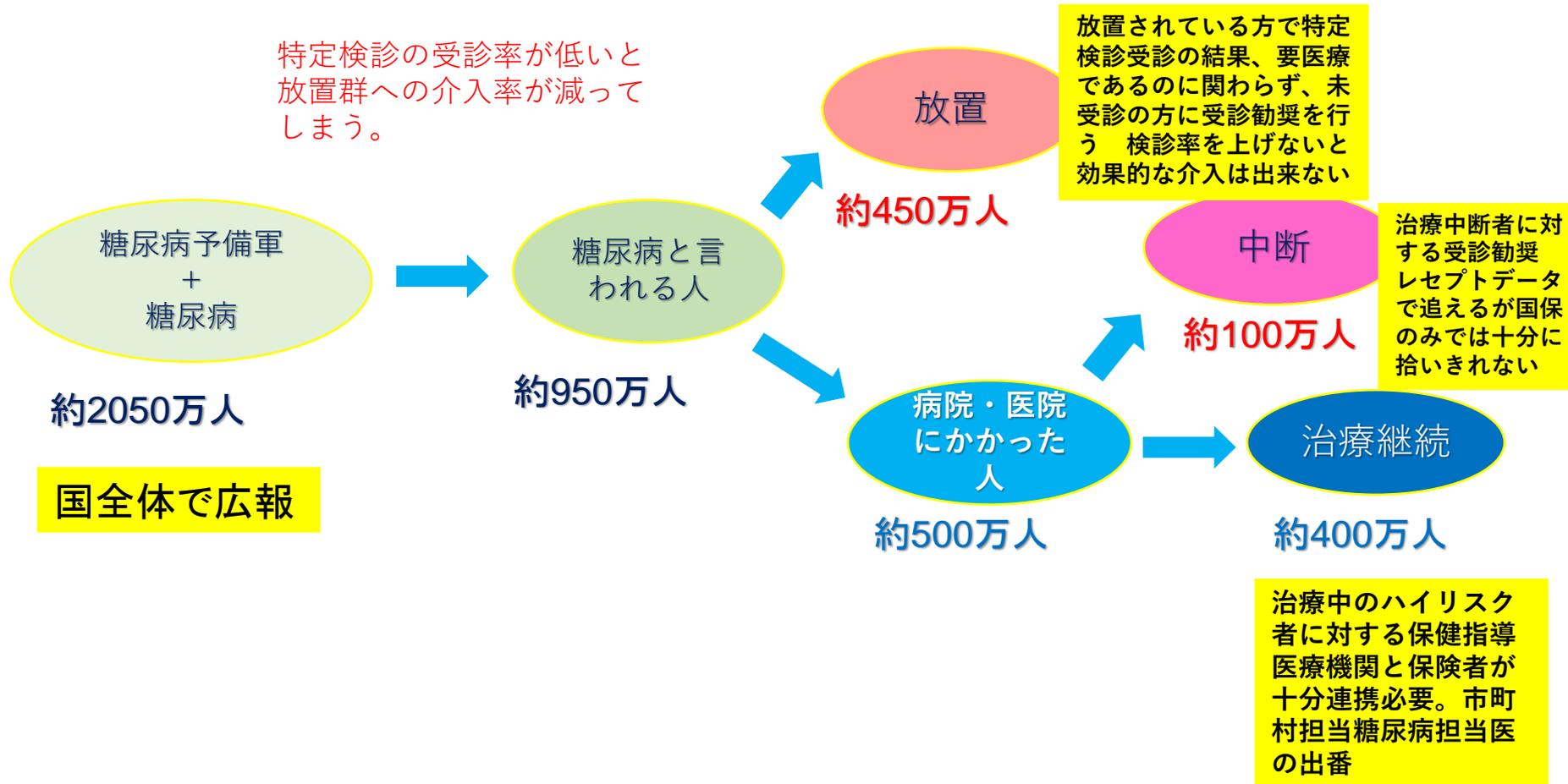


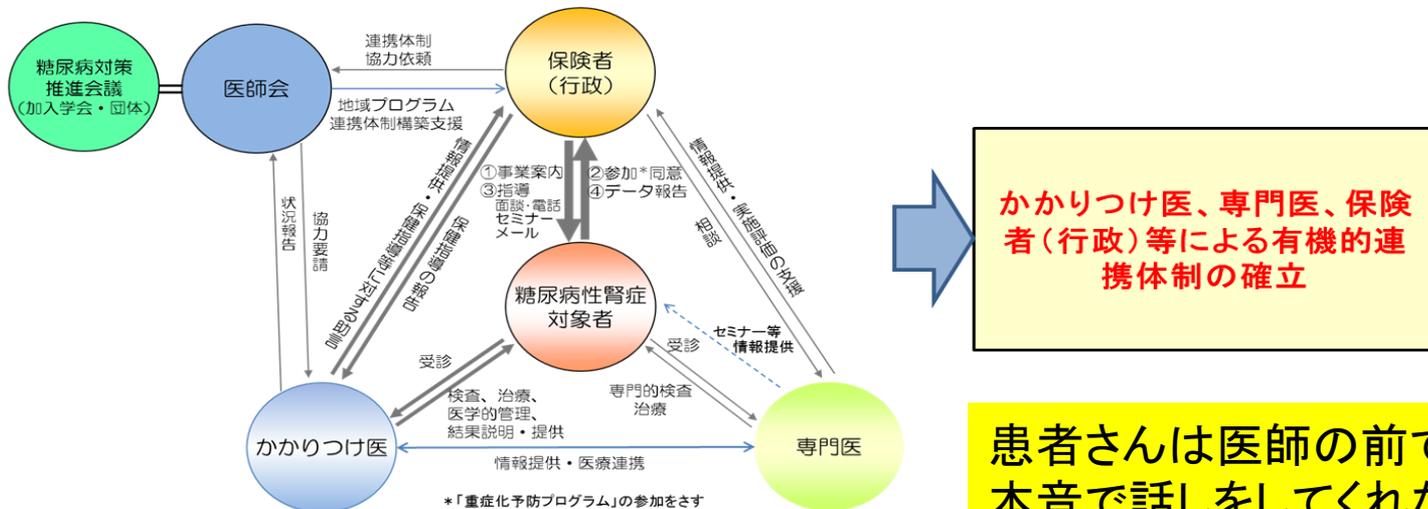
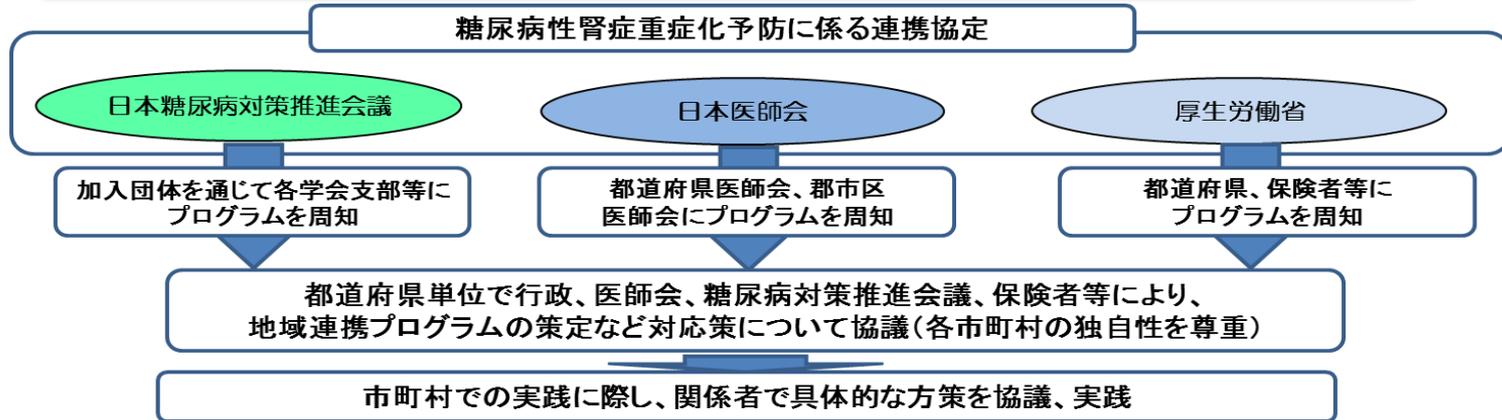
# 糖尿病と健診および治療

「糖尿病が強く疑われる人」のうち、現在糖尿病の治療を受けていない人 ---41.9%

「平成19年 糖尿病実態調査」(厚生労働省 健康局総務課生活習慣病対策室)



# 糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおける関係者の役割



患者さんは医師の前では本音で話しをしてくれない。  
看護師、栄養士、薬剤師が頼りになる

## ②、③についてどうするか医師会にゆだねられる

# 京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラムとは

## 1. 基本的な考え方

糖尿病が重症化するリスクが高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけると共に、糖尿病で通院する患者のうち重症化するリスクの高い方に対して、医療保険者が医療機関と連携して保健指導を行い、人工透析への移行を防止する。

## 2 プログラムの内容

○対象者の選定：健診データやレセプトデータ等を活用して抽出

- ①医療機関未受診者：健診異常値であっても未受診者
- ②糖尿病治療中断者：治療中だったが中断している者
- ③ハイリスク者：医療機関受診中で腎症発症の可能性が高い者

○介入方法

- ①受診勧奨：通知・電話・個別面談等
- ②保健指導：本人及びかかりつけ医の了解のあった方について保健指導のスキルをもった専門職が実施

○かかりつけ医や専門医等との連携

○評価

3

ハイリスク者については管理栄養士がいる病院であっても糖尿病専門医がいなかったりプログラム自体を病院で共有されていない場合の対応が医師会に求められている

# 京都府糖尿病重症化予防システム（H29～）

どの地域でも適切な保健指導が安定的に受けられる実施体制の構築

新型コロナウイルス感染症を契機に各地区でのハイリスク者を振り分けする窓口をweb形式で京都府に設置いただければ。

有識者  
医療団体  
保健団体  
保険者  
市町村

糖尿病重症化予防戦略会議

糖尿病対策推進  
事業委員会

日本糖尿病学会市町村担当  
医の配置

乙訓  
保健所

山城北  
保健所

山城南  
保健所

南丹  
保健所

中丹西  
保健所

中丹東  
保健所

丹後  
保健所

京都市

地域戦略会議（各保健所＋京都市に設置）

地域ごとの連携体制の構築

地域の専門人材の育成・活用、府民への啓発等

京都府医師会・京都府歯科医師会・京都府栄養士会・京都府薬剤師会による育成

人工透析導入数の減少・QOLの維持向上

## 糖尿病腎症重症化予防における日本糖尿病学会市町村担当医

	都道府県	延べ 人数	地域数		都道府県	延べ 人数	地域数		都道府県	延べ 人数	地域数
1	北海道	41	41	17	石川県	21	8	33	岡山県	14	5
2	青森県	5	5	18	福井県	4	4	34	広島県	16	16
3	岩手県	9	9	19	山梨県	24	9	35	山口県	16	17
4	宮城県	4	4	20	長野県	9	9	36	徳島県	10	12
5	秋田県	7	11	21	岐阜県	27	16	37	香川県	7	7
6	山形県	28	4	22	静岡県	11	22	38	愛媛県	11	11
7	福島県	7	7	23	愛知県	22	24	39	高知県	4	3
8	茨城県	7	11	24	三重県	31	14	40	福岡県	13	13
9	栃木県	16	13	25	滋賀県	6	8	41	佐賀県	3	3
10	群馬県	8	8	26	京都府	24	24	42	長崎県	8	8
11	埼玉県	29	29	27	大阪府	49	8	43	熊本県	10	9
12	千葉県	36	22	28	兵庫県	7	7	44	大分県	14	14
13	東京都	24	12	29	奈良県	5	5	45	宮崎県	10	7
14	神奈川県	16	16	30	和歌山県	11	5	46	鹿児島県	6	6
15	新潟県	29	7	31	鳥取県	3	3	47	沖縄県	5	5
16	富山県	4	4	32	島根県	8	8		合計	679	513